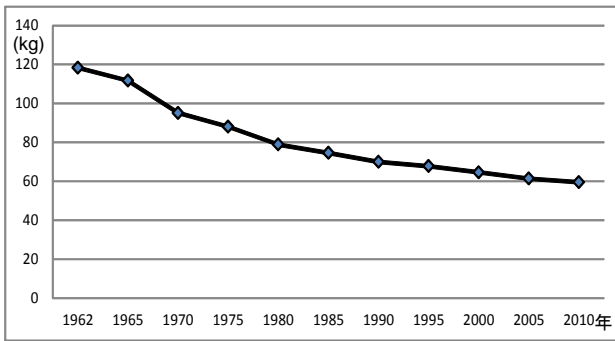


私たちの生活と食料生産	( )組	氏
	( )番	名

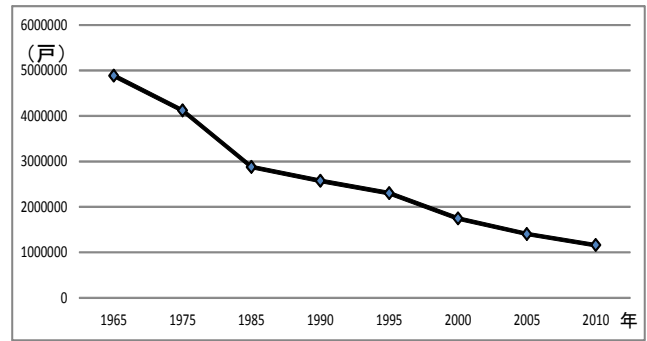
さとしさんたちのクラスでは、米作りに関する、次のような学習を行いました。

先生 <sup>しりょう</sup>資料1と資料2を見て、気づいたことはありませんか。  
 さとし 日本の人たちがお米を食べる量(消費量)も、米作りの農家数もへり続けています。宮崎県も同じようにへり続けているのでしょうか。  
 先生 実は宮崎県も同じ状況です。これを見て何か感じることはありませんか。  
 ひろし ぼくは「ア どうして、お米を食べる量がへり続けているのだろう？」という疑問をもちました。  
 さとし ぼくは「イ 米づくり農家の人たちのためにも、お米の消費量や生産量を増やすことが必要なのではないか」と思いました。  
 先生 では、今日の授業では、ひろしさんやさとしさんの疑問などをもとに、宮崎県で行われている工夫や努力について、みんなで学習しましょう。

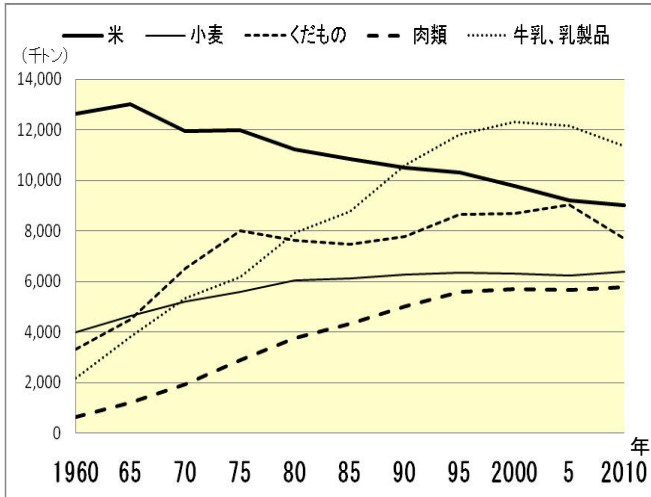
【資料1 日本の米の一人当たり年間消費量】



【資料2 日本の米づくり農家数の変化】



【資料3 食料品の年間消費量の変化】



【資料4 年代別の朝食例】



※ 資料1～資料3は、「農林水産省統計資料」より作成

(1) さとしさんたちのグループでは、会話文の中の下線部アの疑問について、資料3と資料4をもとに次のような予想をたてました。

どのような予想を立てたのかを考えて、( ) の中に書きましょう。

さとしさんたちの予想

日本の人たちが、お米の他にも、  
 ( )  
 ようになったからではないか。

(2) 次に、さとしさんたちのグループは、会話文中の下線部イについて行われている工夫や努力について、資料4～資料8をもとに考え、下の表にまとめていきました。

資料や表をもとに、次の①から③の問いに答えましょう。

- ① 資料4・5をもとに、表の中の（ウ）にあてはまる言葉を書きましょう。
- ② 資料6をもとに、表の中の（エ）にあてはまる言葉を書きましょう。
- ③ 資料7と資料8との関係をよく考え、表の中の（オ）にあてはまる言葉を書きましょう。

表 さとしさんがノートにまとめたこと

お米の消費量や生産量を増やすために、宮崎で行われている工夫や努力	
もとにした資料	自分たちが考えたこと
資料4 資料5	（ウ） ためにポスターを作ったり、米の袋に注意をひく文字をのせたりしている。
資料6	米粉パン以外にも、米粉で作る食べ物を（エ） していけば、消費量や生産量をもっと増えるのではないか。
資料7 資料8	研究によって（オ）が進んだので、10 アールあたりの米の収穫量がのびているのではないか。

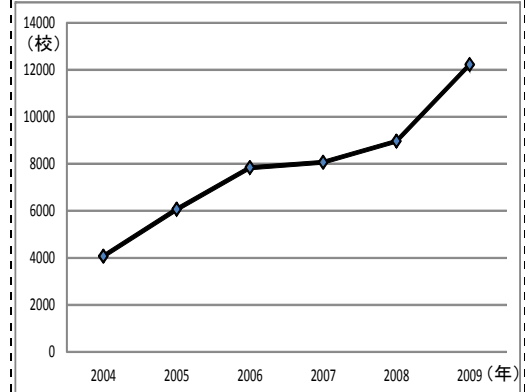
【資料4 ポスター】



【資料5 米の袋】



【資料6 米粉パンを給食に出している学校数】



【資料7 宮崎県農業試験場の研究の様子】



【資料8 宮崎県の10a(アール)あたりの米の収穫量】

